



# 平成26年度国立市のお金はこのように使われました (一般会計の主な事業と経費)

平成26年度の決算がまとまりましたので、お知らせします。詳しくは、市ホームページ(決算概況)をご覧ください。  
問い合わせ 政策経営課財政係

## <平成26年度決算のポイント>

- 平成25年度に引き続き、臨時財政対策債(赤字地方債)の借入れを行いませんでした。
- 経常収支比率は、健全化取り組みの効果などにより、前年度比で0.3ポイント改善され、95.8%となりました。
- 市税等収納率は、納税者の皆さまのご理解、ご協力および担当職員の努力により、平成25年度を0.1ポイント上回る98.9%となり、引き続き多摩26市中1位の結果となりました。

### 平成26年度に実施した主な事業と成果

#### 国立市民のいのちと健康を守る

- 市民総合体育館の耐震改修および市民芸術小ホール設備改修のために…6億8,018万円
- 小・中学校の耐震化対策工事のために…2億1,037万円

#### 国立の子育て・子育てに責任を持つ

- さゆりナーサリーの認可保育園移行に対する補助のために…943万円
- 放課後の教室を活用した学習教室(アフタースクールサポート)開設のために…500万円

#### 国立のまちの景観と賑わいをつくる

- 都市計画道路3・4・10号線の整備のために…12億6,072万円
- JR南武線谷保駅バリアフリー化のために…1億9,515万円
- 城山さとのいえの建設のために…4,298万円

#### 法やルールを守り、赤字市政からの脱却を図る

- 公共施設保全計画の策定のために…2,910万円
- 事務事業評価委員会の運営のために…42万円

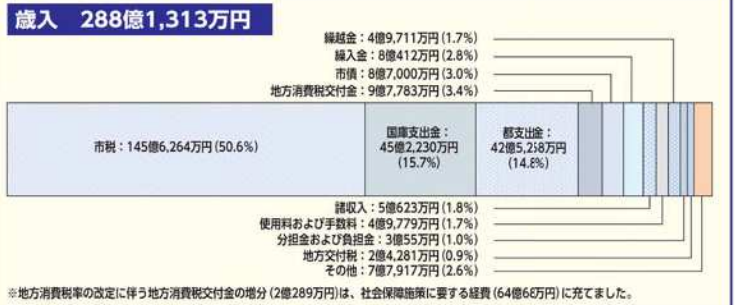
平成26年度健全化の取り組み効果額総額…3億749万円

#### <歳入の主な取り組み>

- 市税等の収納率の向上…1,914万円
- 国民健康保険税収納率の向上…2,264万円
- くにたち未来寄附…5,494万円

#### <歳出の主な取り組み>

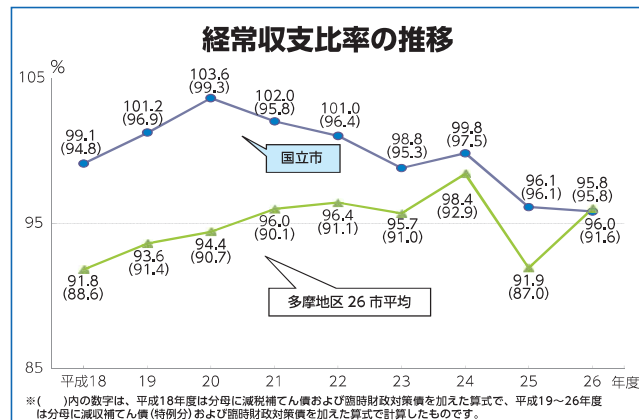
- 給与の見直し(部長職給与、扶養手当の見直し等)…1,444万円
- 退職手当の見直し…3,000万円
- 長寿慶典事業の対象者の見直し…601万円



### 経常収支比率

経常収支比率とは、市税など毎年経常的に入る収入(経常一般財源等)で、どれだけ経常的な支出(人件費、公債費、扶助費等)を賄うことができたのかを示す割合で、財政の弾力性を計る指標になります。経常収支が100%を超えるということは、経常的な支出を経常的な収入で賄っていない状態です。家庭に例えるなら、毎月の生活費が月給を上回り、臨時収入(借金)や貯金の取り崩しにより不足を補っている状況といえます。

経営努力の結果、数値は減少傾向ですが、依然として高い数値のまま推移しています。



### 健全化判断比率と資金不足比率

算定を行った結果、国立市の健全化判断比率と公営企業の資金不足比率はすべて早期健全化基準を下回りました。実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、将来負担比率は将来負担額を貯金等の充当可能財源が上回ったため算出されません。

ただ、この財政指標は、財政破たんの恐れがある団体を早期に発見し健全化を促すためのものであり、各指標が基準を下回っているだけでは財政運営上問題がないということにはなりません。ほかの指標も含め、財政状況を分析・検討をしながら、堅実な財政運営に努めていきます。

#### <健全化判断比率>

		国立市	早期健全化基準(※)
実質赤字比率	一般会計等の赤字の割合	-	12.77
連結実質赤字比率	特別会計を含めた市全体の赤字の割合	-	17.77
実質公債費比率	収入に対する借入金返済額の割合	-0.8	25
将来負担比率	借入金等の残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性を示す	-	350

※基準を超えると財政健全化計画の策定等が義務付けられます。  
※「-」は、数値がないことを表しています。

#### <資金不足比率>

		国立市	早期健全化基準
下水道事業特別会計	公営企業会計の資金に不足が生じているかを表す指標	-	20

※「-」は、数値がないことを表しています。